

特集

BCP 事業継続計画

中小企業こそ取り組みたい
BCPから始める経営体質改善

支部さんぽ vol.12

横浜みなと支部 上大岡編

かながわPOWER

H×M(アッシュ・エム)

SCHEDULE

※日程変更の可能性もあります。 e.doyuをご覧ください。

 マークの行事はどなたでも参加できます。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。TEL 045 (222) 3671

8月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1 友引 県央支部幹事会 相模原支部幹事会	2 先負 横浜みなと専門サービスの会 横浜北支部幹事会 湘南支部幹事会 横浜みなと支部幹事会 横浜中央支部幹事会	3 仏滅 正副代表理事会 1 日合宿 広報委員会	4 大安 3年目社員研修会 女性部会②	5 赤口	6 先勝
7 友引 社員教育委員会 川崎支部幹事会 たま田園支部幹事会	8 先負 第35回かなカン実行委員会 経営戦略研究会	9 仏滅 経営労働執行部会議 理事会	10 大安 求人委員会 青年部会幹事会	11 赤口 山の日	12 先勝	13 友引
14 先負	15 仏滅	16 先勝	17 友引	18 先負 幹部社員研修 たま田園支部例会 	19 仏滅 経営指針事前 研修会	20 大安
21 赤口 横浜ブロック会議 小田原支部幹事会	22 先勝 2023組織強化・会員増強全 国交流会 川崎支部例会 	23 友引 相模原支部例会  県央支部例会 	24 先負 求人委員会 総務委員会 青年部会	25 仏滅	26 大安	27 赤口 湘南支部BBQ
28 先勝	29 友引 組織委員会 同友会を知る為のオリエン テーション 	30 先負 共育講演会 	31 仏滅			

9月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1 大安 幹部社員研修	2 赤口	3 先勝
4 友引 川崎支部幹事会 たま田園支部幹事会 相模原支部幹事会	5 先負 経営指針 経営戦略研究会 県央支部幹事会	6 仏滅 横浜ブロックZoom商談会 正副代表理事会 かなカン準備委員会 横浜北支部幹事会 湘南支部幹事会 横浜みなと支部幹事会 横浜中央支部幹事会	7 大安 関東甲信越代表者会議 求人委員会会議 広報委員会	8 赤口 関東甲信越代表者会議 女性部会 ダイバーシティ委員会 横浜北支部例会 	9 先勝	10 友引 相模原支部例 会 
11 先負 学校訪問期間② 相模原支部例会  川崎支部会員訪問 横浜ブロック会議 小田原支部幹事会 社員教育委員会 青年部会幹事会	12 仏滅 経営指針	13 大安 理事会 & 入会式	14 赤口 第51回青年経営者全国交流会	15 友引 第35回かなカン実行委員会 かわさき起業家オーディ ション	16 先負	17 仏滅
18 大安 学校訪問期間② 敬老の日	19 赤口 経営指針	20 先勝 上鶴間高校インクルーシブ 見学会 湘南支部例会  県央支部例会 	21 友引 求人委員会会議 総務委員会 川崎支部例会  政策委員会	22 先負 共同求人WG会議② 就職情報交換会 障害者福祉部会定例会  県南支部例会  たま田園支部例会 	23 仏滅 秋分の日	24 大安
25 赤口 財務委員会 たま田園支部正副支部長・ 分会長会議 横浜中央支部例会 	26 先勝 経営指針	27 友引 銚子電鉄一泊訪問会 組織委員会 同友会を知る為のオリエン テーション 	28 先負 銚子電鉄一泊訪問会 かながわJobway④ & 就活 相談会 青年部会	29 仏滅 横浜みなと支部例会 	30 大安	

特集

BCP
(事業継続計画)

中小企業こそ取り組みたい BCPから始める 経営体質改善

BCP（事業継続計画）は、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画^{*1}のことです。

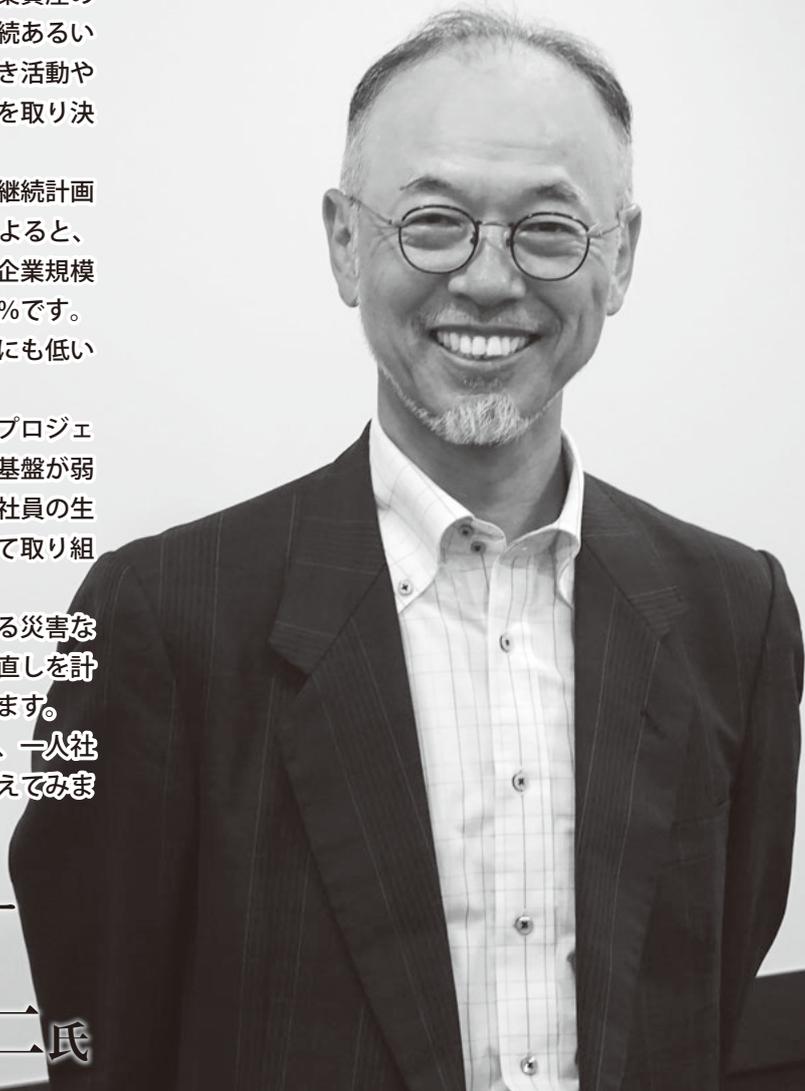
帝国データバンクが2022年6月に発表した「事業継続計画（BCP）に対する企業の意識調査（2022年）^{*2}」によると、BCPを策定している企業は17.7%。策定している企業規模の内訳は、大企業でも33.7%、中小企業では14.7%です。地震大国、台風大国である日本であるのに、意外にも低い数値が報告されました。

これに対し、BCPアドバイザーの小林 英二氏（プロジェクト上昇気流 代表）は「多くの中小企業は経営基盤が弱いというリスクを抱えています。中小企業こそ、社員の生活を守るためにも、BCPの策定は優先順位をあげて取り組むべきです。」と提唱しています。

さらにBCP策定を行うことで、これから起こりうる災害などに対して備える準備はもちろん、経営戦略の見直しを計り、取引先からの信頼を得ることもできると言います。今年こそBCPの策定を行いたいと考えている方も、一人社長、個人事業主の方も事業継続のために一緒に考えてみましょう。

リスク診断士・BCPアドバイザー
プロジェクト上昇気流

小林 英二氏



何から始める?BCP策定

BCPとは事業継続計画(Business Continuity Plan)の略。世界的には2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ以降、日本では2011年の東日本大震災以降、その必要性を認識し、策定する企業が増えてきています。

BCPと聞くと、前述した自然災害への対応が真っ先に頭に浮かびますが、小林氏によると「新型コロナウイルスのようなパンデミックや戦争、放射能・バイオ・ケミカルによる汚染、爆発、サイバーテロ、経営者の死亡や病気・ケガによる代行者の不在も事業継続が難しくなるため、BCPの対象リスクとなり得ます。」と言います。

BCPの策定は、これらのリスクに対し、下記の4点を意識し、リスク事象の発生から復旧までの手順と方法を明記した計画を立案し、BCPや事業継続力強化計画(簡易版BCP)にまとめていきます。

1. まずは事業が停止しないようにするにはどうすればいいか?
2. 停止してしまった場合、最低限の影響にとどめるにはどうしたらいいか?
3. 停止してしまった場合、復旧までの時間を短くするにはどうしたらいいのか?
4. 復旧までが長期化する場合、どのくらいの期間であれば自社が耐えられるのか?

事業継続計画(BCP)と事業継続力強化計画

事業継続力強化計画は、中小企業強靱化法(中小企業の事業活動の継続に資するための中小企業等経営強化法等の一部を改正する法律)の施行により、令和元年7月から始まった制度で、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度です。国の認定を受けた中小企業は、税制措置や金融支援、補助金の加算などの支援策が受けられるという利点もあります。

「事業継続力強化計画」は申請様式が定まっており、必要最小限の内容が盛り込まれていることから、どの企業でも取り組みやすい、「入門版BCP」とも言われています。^{*3}

両者の大きな違いは経済産業省による認定の有無です。事業継続力強化計画はBCPよりも基本的な項目で構成されるため、BCPに比べて策定が簡単に行えますが、両者とも目指すところは同じ「災害発生時の事業継続と早

期復旧」です。BCPの策定は難しいと思うのであれば、まずは事業継続力強化計画を策定してみたいかがでしょうか。

なお、ここでは事業継続計画も事業継続力強化計画もBCPとして扱います。

BCPを策定することで見えてくる自社の弱点

次にBCPのメリットを見てみましょう。小林氏は「BCPの策定の工程であるリスクアセスメントを行うことで、自社の経営の弱い部分が浮き彫りになります。また、リスク事象発生時の対策を検討していく中で様々な経営課題に気づき、経営戦略を見直すきっかけになります。結果として経営体質を強化することができるのがBCPの最大のメリットです。」と語ります。

BCPを策定することのメリットは、次の4点です。

1. リスクが発生した時に事業を継続できる可能性が高くなる。
2. 取引先との信頼関係を構築することができる。
3. リスクを低減させることができ、予防策を講じることができる。
4. 従業員が安心して働くことができる。

それぞれどのようなことなのか見ていきましょう。

1 リスクが発生した時に事業を継続できる可能性が高くなる

BCPの目的そのものです。策定された計画書があれば万一の被災時にも初動を早めることができ、混乱した状況の中でもパニックに陥らずに落ち着いて行動、情報収集、避難を行うこともできるでしょう。結果として、復旧までの時間を短縮することで事業継続の可能性を高めることにつながります。

2 取引先との信頼関係を構築することができる

内閣府が令和2年に行った「令和元年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査」^{*4}によると、BCPを策定することになったきっかけの約20%は親会社・グループ会社の要請だといいます。

サプライチェーンの一部としてBCP策定を求められることも多くなってきています。言い換えれば、BCPがあり、適正に運用をされ

ていることが取引先との信頼関係を作ることにもつながります。

また、有事の際の資金調達を金融機関と相談しておくことも、企業の信頼度を上げることにつながります。

3 リスクを低減させることができ、予防策を講じることができる

想定したリスクに対する対処方法を考えていくと、必ず何かしらの「十分ではないこと」が出てきます。たとえば、帰宅困難者に配布する物資や安全に非難するための物資の不足といったものです。

人的資源の不足もすぐに気が付く点です。安全に避難するためには避難誘導が必要ですが、誰に避難誘導をさせるのか、避難誘導のための心構えや教育を行う必要もあります。また、図面をサーバーで管理している企業も多いと思いますが、復旧に携わるIT系人材の雇用や教育が必要かもしれません。

さらに、災害発生から復旧まで数か月かかるような場合には資金ショートへの心配もあるでしょう。材料の調達、協力会社の被災など、人・物・金・情報のすべての面において、さまざまな角度から経営を見直すきっかけになると小林氏は言います。

こういった対策を考え、実行に移しておくことが予防策となり、リスクを低減させることにつながります。

4 従業員が安心して働くことができる

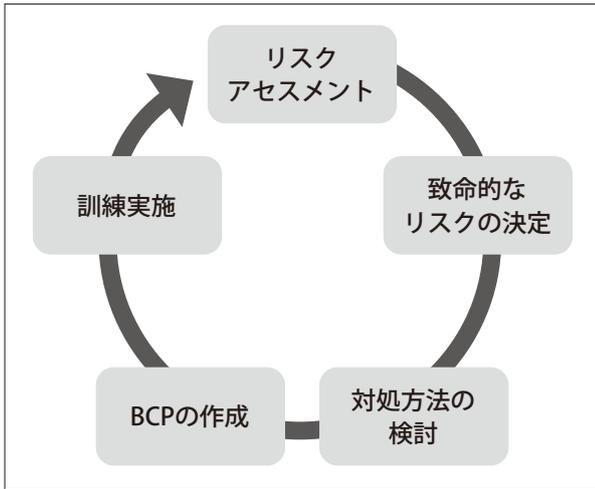
従業員に対して災害時の対策を示すことで、従業員の安全に対する会社の姿勢を示すとともに、安心して働ける環境を提供することができます。

BCPの策定手順は?

BCPの策定手順は次のようになります。

1 リスクアセスメント

まず、自社の事業継続が危ぶまれると思われるリスクや災害を洗い出します。前述の小林氏が例示したように他社にとってはリスクとならないものでも、自社にとってはリスクとなり得るものはすべて洗い出しを行います。たとえば、火災や洪水、コンピューターウイルス感染、交通網の遮断、材料入手先の倒産、火山噴火、材料の高騰などです。



BCP策定手順

2 致命的なリスクの決定

1で考えたリスクに対し、事業影響度とボトルネック（業務が停滞してしまう工程など）を考慮して優先順位をつけ、致命的になると考えられるリスクを決定します。ここで決定したリスクに対して、対処の順番や方法を策定し、まとめられたものがBCPになります。

3 対処方法の検討

2で決定したリスク事象が発生した際に、何を行うのか、どうやって情報を収集するのか、その手段と対処方法を考えます。

火災発生の場合であれば、火元の特定と消防署への通報、従業員の避難・誘導、初期消火の体制、被災機器等の確認、代替機器や資金の調達、翌日からの勤務体制など、想定できる事象をできる限り細かく想定し、対処方法を検討します。この時、日中の発生なのか、夜間の発生なのかによって対処方法が変わるものもあります。事象の発生が営業時間外の場合も考慮に入れるようにしましょう。

4 BCPの作成

3で検討したリスクに対する対応方法をまとめてBCPにします。インターネットで検索してみると業種や災害別のBCP対応事項も多数見つかりますが、必ず吟味し、自社に合ったものを計画として記載するようにしましょう。

5 訓練の実施と運用への落とし込み（PDCAを回す）

BCPを作ると一安心してしまいがちですが、PDCA（計画・実行・評価・改善）を回すことが最も大切だと小林氏。策定したBCPの内容は従業員へ周知をはかり、実施訓練を

行い、改善点があれば3の対処方法の見直しを行います。

内閣府の調査でも「部署間の連携が難しい」「BCPに対する現場の意識が低い」点が推進できない理由として挙げられていることから、従業員へBCPの意義や訓練の重要性などの教育を行っていくことも大切です。防災訓練やリスク事象の予防訓練を行うことも大切ですが、部署間の協力体制づくり、コミュニケーションがとりやすい職場づくりも必要です。

また、定期的に1のリスクアセスメントを行い、BCP全体を見直していくことも必要です。

BCPは従業員と経営者で作る

中小企業庁のホームページの入門編では、経営者が一人で作って1〜2時間でできると紹介されています。小林氏のおすすめは「従業員を巻き込み、経営者と一緒に作る」こと。従業員へBCPの重要性を説明するよりも、一緒に策定することで教育以上の効果があると言います。

一方で、経営戦略の見直しを行わなければならないような対応が求められるケースの場合は、経営者の出番です。従業員が安心して働くことができ、事業停止にならないために企業としてどうするべきかを示さなければなりません。

また、BCPは想像力を働かせ、起こりうる問題とその対応策を考えなければなりません。2人以上（複数拠点がある場合は、それぞれの拠点から2人以上）を選出し、チームを作り、相談しながら策定を行う方が煮詰まらず、良い対策を策定することができます。

時間と費用がかかるものは重要な経営課題として認識を

小林氏は災害への対応策を考える上で、経営者は「重要設備の二重化や分散についても検討する必要がある」と指摘します。

設計図面、設計資料、機密情報などを保存しているサーバーやハードディスクの二重

化、加工の要となる重要設備の拠点分散などは実施するとなれば大がかりとなり、費用も時間もかかります。だからこそ、実施の可否を含めて経営判断が必要となるため、BCP策定を従業員まかせにするのではなく経営者が関与する必要があります。

まずは小さく作り、確実にPDCAを回す仕組みづくりを！

小林氏のおすすめはほかにも「最初から数種類のリスクに対応するのではなく、自社が考えやすいリスクから対応していくのが良いと思います。作ったら終わりではなく、BCPはPDCAを回すことが何よりも大切です。」

たとえば震災のリスクを考えていくと、地震、津波、火災と様々な複合的なリスクに対して、対策を検討する必要があります。これを火災だけに絞ると検討事項は減り、PDCAを回しやすくなります。

次年度に地震に対するBCPを策定するなど、PDCAの流れの中に、「新しいリスクに対するBCPを策定する」という工程を入れておくと、新たなリスクへの対応もでき、策定のノウハウも増え、検討しやすくなるという利点もあります。

神奈川県BCP策定支援策も利用しよう

中小企業庁のホームページ^{*2}では、BCP事例集やBCPの進め方やテンプレートがダウンロードできます。

また、神奈川県^{*3}がまとめている「中小企業のためのBCP（事業継続計画）作成のススメ」では、BCPのテンプレートのダウンロードができるほか、BCP策定支援融資やBCP策定のための専門家派遣事業の案内もしています。

本格的な台風シーズンに入る前に、BCPについて考えてみてはいかがでしょうか。

*1 帝国データバンク 事業継続計画（BCP）に対する企業の意識調査（2022年）<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p220606.html>

*2 中小企業庁 中小企業BCP策定運用指針<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>

*3 神奈川県 中小企業のためのBCP（事業継続計画）作成のススメ <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jf2/cnt/f4763/index.html#BCP3-1>

*4 内閣府 令和元年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査 https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/topics/pdf/r2_gaiyou.pdf



昭和精工株式会社
代表取締役

木田 成人氏

事業継続は協力会社あってのもの

昭和精工株式会社は1954年創業の精密加工、精密金型の設計製作を行う金属加工メーカーです。昭和精工では2020年（令和2年）に事業継続力強化計画の認定を受けています。

隣接工場の火災で工場焼失 火災に対しての備えはできていた

昭和精工は1958年に隣接するコールタール工場の火災の延焼を受け、工場を焼失した経験があります。代表取締役の木田 成人氏は「先代の時から、よく『ブレーカーは落としたか?』と、火災の原因になる電気の始末について、会社全体で注意をしていました。火災の避難訓練や消防訓練は今も毎年実行しています。企業風土として火災に対する意識は一般の企業よりも高いと思います。」と語ります。

本格的にBCPへの取り組みを始めたのは、2011年の東日本大震災後のこと。火災以外にも災害への備えを行った方が良くと痛感したそうです。SDGsの取り組みも兼ねて、窓ガラスへ遮熱フィルムを張り付け、ガラスの飛散防止を行い、容量105kwの太陽光発電を設置するなど設備も整えています。

緊急時対応マニュアルを 社員へ配布

一人ひとりの防災意識を高める

社員には折りたたんで手のひらサイズになる緊急時対応マニュアルを配布しています。初期対応や緊急連絡先、安否確認方法などが明記しており、有事の際は取り出して見るだけで、誰でもすぐにわかるようになっています。

また、防災意識を高めるために、近隣の消防署と連携しておくことが大切だと言います。「消火訓練、起震車、AEDや人工呼吸など、定期的に訓練を行ってもらうことができますので、消防署を活用するのはおすすめです。」と薦めてくれました。



緊急時対応マニュアル。A4を8つ折りして携帯できる。

うちにだけ電気が来ない!

2023年6月に

5日間操業が停止した

2023年6月4日(日)の早朝に昭和精工だけが停電になるという事象が発生しました。

「原因は東電から工場への電気を送る、地下ケーブルの絶縁破壊でした。実は故障の1週間前に工場全体の電気を落として電気系統の点検を行っていたのです。だから、電気が来ないというのは思いもしていませんでした。

ちょうど取材したいと電話がかかってきた時はまだ復旧後の忙しい時だったのですが、これも話のネタになるかなと思って。」と木田氏。

まだ湯気のあがっているホヤホヤの貴重な経験を赤裸々に語ってくれました。

昭和精工では事業継続力強化計画で、一帯が停電になることは想定していましたが、自社だけが停電になることは想定できていませんでした。日曜日に発生したことで、対応策を考えることができたのは不幸中の幸いでした。

幹部社員を集めて、まず行ったのは、社員へ「停電のため、明日は自宅待機にする」という連絡でした。少し前に災害を想定し、SNSのような連絡システムを導入。連絡はすんなりと進むはずでしたが、「これはデマではないのか」と電話で連絡してくる社員が数人いたそうです。導入したものの運用されていなかったことから、どういう文面であれば緊急事態を伝えられるのかを検証していませんでした。社員は誰からの発信なのかわからず、デマ扱いに。あわてて『総務部からの緊急連絡です。』と文章を付け加えて再送し、なんとか無事に連絡は終了。

幹部社員の中には月曜日の朝に社員全員に

来てもらい、事情を説明した方が良いのではないかと提案する人もいたそうですが、木田氏は自宅待機を決断。その理由はトイレが使えないからでした。

「原因もわからない状態で社員に時間をかけて通勤させることを避けたかったことありますが、それ以前に100人もいたら、近隣にトイレを借りに行くのもちょっと…。停電したらトイレが使えないんだというのは発見でした。」

6月6日(火)には発電機をかき集め、なんとか社内のメールやサーバーを使えるまでに復旧します。8日(木)午前には原因もわかり、電気系統が復旧。9日(金)から操業再開となりました。

協力会社の大切さが 身に染みてわかった

今回の教訓は何かと聞くと、真っ先に「協力会社と良い関係を作っておくことが大切」と木田氏は答えてくれました。

「なるべく早く取引先に連絡ができるようにと、日曜日なのに動いてくれて、発電機を探して、かき集めてきてくれました。原因究明に関しても高圧電線ですから感電する危険もあるのに、安全を担保しながら非常にスムーズに作業してくれました。

今の時代、金額面で折り合いがつかないと疎遠になってしまう協力会社もあると思いますが、気持ちの良いお付き合いができる関係を作っておくことが必要だと、本当に思いました。」と協力会社への感謝を伝えてくれました。

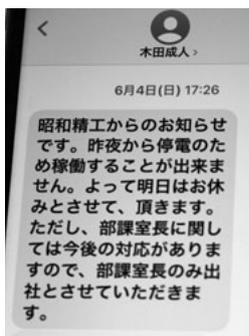
冒頭の火災の時も得意先をはじめ、周囲の方々の手を貸してくださったと言います。先代から誠実に良い関係を作ってきたという証でしょう。

災害には臨機応変さも必要

また、コロナ禍を乗り越えたことで、臨機応変に対応する自信がついたと言います。

「以前は緊急時対応マニュアルに火災時は建屋の4階に避難するように書いてありました。でも、考えていくと本当に4階に逃げるのが安全なのかどうか。退路を失うだけかもしれない。それで、自分が一番安全と思う場所に逃げ、後で連絡をするという方式に変えました。

そして、今回の停電のことで、想定外のことはまだいろいろあるんだろうなと思うようになりました。けれど、想定外だったコロナ禍もいろいろと決めながら、なんとか対応できていたではないですか。臨機応変さがないと災害には対応できないのかもしれない。」と木田氏は笑顔で語ってくれました。



最初に送信した文面。情報は足りているが、社員名が入っていないため、スпамだと思われた。



継続していくことが一番大変で、一番大切

株式会社スリーハイ 代表取締役

コーポレート部門

男澤 誠氏(右)

堀江 美穂氏(左)

1987年創業の産業用・工業用のヒーターを製造する株式会社スリーハイ。準工業地域という住宅と工場が混在する場所に3拠点を構えていることから、地域に情報を公開し、信頼関係を築くことに力を入れてきました。災害ベンダー自販機を設置し、地域のことも考えた防災対策を行っています。

スリーハイでは2022年3月に神奈川県BCP作成等支援専門家派遣事業を利用してBCPを策定しています。

2013年に一度策定、しかし活用できず

東日本大震災後、この地域で震災が起きたらどうなるのかと考えるようになったという代表取締役の男澤（おざわ） 誠氏。いろいろな本を読み、調べ、2013年に一度BCPを策定したことがあるそうです。

「神奈川県の専門家派遣制度を使って、私だけで策定しました。しかし社業に追われ、十分な検討ができないまま、コンサルタント（専門家、以下コンサル）と相談しながら、なんとかBCPという形にしていました。県のセミナーに登壇させていただいたこともあります。」と苦々しい表情で語ります。作ったものの、更新はできず、社内に展開もできず、失敗だったという気持ちだそうで、次に策定するなら社員にまかせようと考えたと言います。

きっかけは取引先からの要請 二度目は社員主導で

見直しをしようと思いつきながらもBCPの優先順位は低いままでしたが、取引先の調査項目にBCPの策定が入っていたことがきっかけとなり、二度目の策定にチャレンジします。

今回は社員主導と決め、一度目と同じコンサルに依頼し、策定に取り組みました。

策定担当のコーポレート部門の堀江美穂氏は「名古屋でテレワークを行っている社員と私の2人で策定を行いました。取り組んだ期間は5か月間です。コンサルの方が次々と、『これを作って』『次はこれを考えて』とすごいスピード感で出来上がっていく感覚でした。策定作業は面白い部分もありましたが、難しかったですね。一応BCPはできたのですが、これで完成ではなく、まだまだ不足していると感じています。たぶん私が2割ぐらいしか理解していないと思うんです。」とブラッシュアップの必要性を感じているようです。

被災経験がない想像の世界 だからこそ専門家の存在は大きい

堀江氏が最も大変だと感じたのは想定され

る状況を想像することだったそうです。

「BCPは自社のことだけではなく、他社のことも考えなければなりません。仕入先が被災したら？他の仕入れ先を見つけておかなければならない。3拠点のすべてが近所なので代替拠点はどうするのか？発生が昼間だったら？夜なら社員はいないけど会社はどうすべき？と想像力を働かせて考える。この対処方法のピースを発生するだろう事象にあてはめていくことが大変でした。」と策定の難しさを語ります。

想像を難しくするのは幸いにも被災した経験がないから。「事業が停止する期間がどれくらいなのか、災害の規模はどのくらいなのか、私たちの想像を超えた災害が起きたらわからないですよね。策定した対策も正解なのかどうかわからない。不安は残ります。」と男澤氏も本音も口にします。

そこで心の拠り所になるのがコンサル。堀江氏は「コンサルがいてくれたので、対策をうまく書き表せない時も、解釈して対応策になるように変換してくれる。がんばれと声をかけ続けてくれたことも大きいです。自分たちだけではたぶん策定できなかったと思います。」とコンサルの重要性を強調しています。

PDCAができる 企業風土があった

スリーハイではISO9001、ISO14001を取得しています。取得してからしばらくはISOの管理責任者だけが頑張っている状態だったそうです。これではダメだと少しずつ社員に担当を振り分け、ISOに対する意識改革を行ってきました。ISOは年度ごとに審査があるため、PDCAの流れを作ることができていたことが、BCP策定後に大きな役割を果たしていると言えます。

男澤氏によると「うちはチームにまかせる方式にしています。ISO、BCP、顧客満足度といったチームに分け、それぞれが年間を通して何をすべきかを考え

ます。」

BCPもISOチームに引っ張られるように社内全体のPDCAの一環に組み込まれ、スムーズに運用を開始することができています。

課題は社員への啓蒙活動

BCPができあがったことで社員に変化があったか聞いてみると、反応は薄いとのこと。そこで、策定後の改訂作業が一段落したのを機に、印刷して社員に共有しようと考えています。

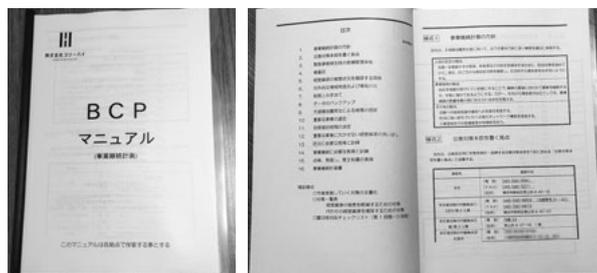
「みな被災経験がありませんので、自分ごととして考えるのは難しいでしょう。やはり教育が必要です。」と男澤氏。BCP教育として、9月1日の防災の日に避難訓練、ほかに年1回座学と体験を行っています。昨年度はAEDと消火訓練、今年は応急処置について学んだそうですが、男澤氏はこれだけでは足りないと考えています。

雇用を守るために 経営者は覚悟して号令を

BCPを作ったことのメリットを「対応策や手順が決まっている安心感」と答えた男澤氏。自分が突然いなくなるかもしれない、BCPに必要なことが書いてあるので安心して社員に任せられると言います。

「風化させないように継続していくことが一番大変で、一番大切だと感じています。継続していくためには社員を巻き込まないと良いものにはならない。それが社員の雇用を守ることになります。雇用を守るために経営者は覚悟して、BCP策定の号令をかけてほしいですね。」

社長の皆様、ご決断は如何に。



2022年3月に策定されたBCP

神奈川県で作成した

〈取材：藤木国際特許事務所 藤木尚、株式会社アールジャパン 荒岩理津子、写真：藤木、文：荒岩〉

過去最高の900人を超える会員が全国から参加 女性経営者全国交流会 in 福岡

2023年6月22日～23日、「Welcome “CHANGE” 新しい時代の想像 ともに生かしあい、育ちあい 進化する未来へ」をテーマに女性経営者全国交流会が福岡で開催されました。リアルとオンラインのハイブリット開催で過去最高の900人以上が参加しました。

1日目はリアル、見学、オンラインの9分科会が開かれ、私は第6分科会の「社会におけるアンコンシャス・バイアスからの脱却」に参加しました。報告者は九州最大の駅「博多駅」の女性二人目の駅長、九州旅客鉄道(株)の鐘ヶ江理恵氏と(株)Bピーニング代表取締役社長の塚崎ひとみ氏です。

鐘ヶ江氏は、以前は当たり前のようにあった「結婚したら女性は退職するもの」など、女性に厳しいアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み・偏見)を感じながらも、結婚、出産、育児を経て活躍されています。アンコンシャス・バイアスを親知らずに例え、「誰の中にもあり根が深い。症状として出る人と出ない人がいる。」という言葉が印象的でした。

塚崎氏は2003年に急逝した夫の会社を引き

継ぎましたが、なにも解らない状況に危機感を持ち、心理学、コーチング、哲学、経営学、財務を勉強して人材育成に取り組みました。「一人ひとり違うのは持って生まれた性格、経験、出会いなどからくるもので同じ考え方の人はいない。だからコミュニケーションが大切。だから面白い。」と語り、学びの深いお話しを聞くことができました。

2日目は(株)西日本新聞社執行役員北九州本社代表 甲木(かつき)正子氏による「100年、200年続く企業に カギは多様性」という記念講演でした。男女雇用機会均等法施行の2期目の女性記者として入社し、上司から「君たちが退職するなら女性を育てても無駄と判断する。来年度の女性の採用は君たちの働き方にかかっている。」と伝えられます。そこから男性社会だった新聞社で道なき道を

S-Bouquet(エスブーケ)
代表 伊藤 千明



進み、20年間で27回の辞令を受け、今に至ります。「終わってみれば自分の糧となり、さなぎから蝶に成長した時の羽の色の美しさになる。」と話されました。

2日間で全国から参加された多くの会員の方々と交流ができ、多くの学びを得ることができた余韻に浸りながら、明太子のお土産を手に福岡を後にしました。

DoYu Topix

障がい者の当事者目線を大切に

神奈川県が「当事者目線の障害福祉推進条例

～ともに生きる社会を目指して～」を制定

今から7年前(2016年)の7月26日、県立障害者支援施設である「津久井やまゆり園」において、19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。県はこのような事件が二度と繰り返されないよう、「ともに生きる社会かながわ憲章」を同年10月14日に制定し、翌年(2017年)よりこの憲章の理念を広める為「ともに生きる社会かながわ推進週間^{*1}」を定め広報活動を行っています。

そして更に、当事者目線の障がい福祉の推進を目指し「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～^{*2}」が今年(2023年)の4月1日に神奈川県の条例と

して施行されました。

今回施行された条例では、障がいによる差別・虐待の禁止はもちろん、障がい者の権利擁護にも言及し、障がい者の望みや願いを尊重し、支援者や周りの人が工夫しながら支援することを定めた内容になっています。障がい者の「当事者目線」を重要視し、障がい者が「自己決定」できるようにすること、「可能性」を大切にすることが謳われています。

一般企業に就労できてもミスマッチ等により退職し、施設に戻る方も少なからずいると聞きます。一つでも多くの企業にこの条例を知ってもらうこと、それが障がい者の可能性につながると考えられます。

*1: 津久井やまゆり園事件の発生した7月26日を含む週、月曜日から日曜日までの1週間、今年の2023年は「7月24日(月)～30日(日)」

*2: 条例案内サイト
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tojisyajourei/top.html>

協力:

社会福祉法人はぐるまの会
はぐるま共同作業所「みらぼ」
施設長 金田 圭二氏

1983年(昭和58年)に障がい者の「生活・労働・学習」を保障することを目指して、川崎市ではじめてのグループホームを設立。現在、9ヶ所のグループホーム、2ヶ所の作業所、相談支援センター、ヘルパーステーションを運営しています。

〈取材/文: Natural Art 有限会社 代表取締役、社会福祉法人はぐるまの会 監事 佐々木良司〉

健康 通信

vol.16



従業員の健康・安全を 推進するための方策

従業員の健康・安全を保持・推進することは、基本的かつ重要な企業活動の一つと考えられます。今回は、①メンタルヘルス対策、②生活習慣病対策、③有害作業対策、④職場の感染症対策の4つに絞って概説します。

～メンタルヘルス対策～

メンタルヘルス不調の未然防止（一次予防）、不調の早期発見と適切な対応（二次予防）、休職者の職場復帰支援（三次予防）をバランスよく実施していくことが重要となります。従業員にとって働きやすい環境づくりがそのまま一次予防につながっていることも多々あります。このように職場のちょっとした工夫で十分な対策となっていることも少なくなく、「メンタルヘルスって難しそう」と構えずに、ぜひ職場で取り組んでいきましょう。

～生活習慣病対策～

定期健康診断の活用、過重労働対策、がん対策などへの取り組みが重要です。過重労働対策は過労死の防止だけでなく、睡眠時間等を含めた十分な生活時間を確保することで生活習慣改善にもつながることが期待されます。また、従業員の高齢化に伴い、ま

すますがんに罹患する従業員が増える可能性が高く、がん検診等を含めたがん対策を企業で推進することも重要でしょう。

～有害作業対策～

有害作業対策、中でも化学物質の管理は近年大幅な法改正が次々と行われており、重要なテーマの一つとなってきました。これまでは法規制に対応していればよかったです。これからは企業自らが考えて適切なばく露低減策を講じていく必要が出てきます。詳細は厚生労働省の文書（下記サイト）等をご参照ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/000884780.pdf>

～職場の感染症対策～

新型コロナウイルスは5類相当に移りましたが、まだ日本では集団免疫は確立しておらず、今後も流行の波を繰り返すことが予想されます。基本的な感染症対策はしばらく継続していくことが必要でしょう。

下記サイトで、今回取り上げた4つのトピックに関する好事例集（ちょっとした工夫など）を公開しております。ぜひご参照ください。

出典：日本産業衛生学会・中小企業安全衛生研究会
「中小企業の皆様に役立てて頂くための手軽な事例集」
<https://www.oshsme.com/>



WRITING

OHサポート株式会社・代表/産業医 今井 鉄平
産業医科大学医学部医学科卒業。大手企業での15年以上にわたる専属産業医勤務を経て、2018年4月にOHサポート株式会社を開設、中小企業向けの産業医サービス提供を主業務としている。日本産業衛生学会指導医、労働衛生コンサルタント、医学博士。



第51回 青年経営者全国交流会 in 広島

—— われわれ青年経営者で、次代に誇れる豊かな世界を創ろう！ ——

2023

9 / 14 (木) ▶ 15 (金)
13:00開会 12:00閉会

会費

14,000円 オプション交流会
(宿泊費・オプション交流会費別) 10,000円 (事前申込制)

メイン会場：広島国際会議場

〒730-0811
広島県広島市中区中島町1-5（平和記念公園内）
TEL：082-242-7777

分科会会場

リーガロイヤルホテル広島、メルパルク広島、
TKP会議室、広島コンベンションホール他（分科会）

1日目 分科会

9 / 14 (木) 13:00～18:00

2日目 全体会・記念公演

9 / 15 (金) 9:00～12:00

記念講演

人生、今日がはじまり

～逆境こそ自ら成長し、(糧となり)企業を変革するチャンス～

講師

株式会社 八天堂 代表取締役

森光 孝雅氏

申し込み

川崎支部 (リアル&Zoom)

8月22日(火) 午後5時00分～

テーマ：経営実践報告 (仮)
報告者：東西工業(株) 代表取締役 丸中達哉氏
場所：ミューザかわさき (リアル&Zoom)
会費：無料

申し込みはこちら



たま田園支部 自社PR交流会 (リアル&Zoom)

8月18日(金) 午後6時30分～

テーマ：自社PR交流会…同友会でビジネスマッチング！
場所：てくのかかわさき/第1・2研修室 (リアル&Zoom)
参加費：無料

申し込みはこちら



県央支部 (リアルのみ)

8月23日(水) 午後6時30分～

テーマ：県央支部懇親会例会 (仮)
場所：レンブラントホテル海老名 (リアルのみ)
会費：6,000円 (予定)

申し込みはこちら



相模原支部 (リアル&Zoom)

8月23日(水) 午後6時30分～

テーマ：経営実践報告 (仮)
報告者：旭フォークリフト(株) 代表取締役 横江利夫氏
場所：町田新産業創造センター (リアル&Zoom)
参加費：無料

申し込みはこちら



湘南支部・納涼交流会 (バーベキュー大会)

8月27日(日) 午前11時00分～

テーマ：納涼交流会
～皆で暑い夏を乗り切ろう～
場所：社会福祉法人ひばり ハートピア湘南
会費：大人1人：5,000円
こども1人：1,000円 (小中学生)
(未就学児は無料です)

申し込みはこちら



小田原支部 (リアル&Zoom)

8月4日(金) 午後6時30分～

テーマ：自社の現状と課題を語る！
報告者：湯河原温泉地所(株)・神谷温泉 代表取締役 神谷建一郎氏
Crux税理士法人 代表社員 星 公信氏
衛大島工務店 代表取締役 大島 顕氏
場所：おだわら市民交流センターUMECO (リアル&Zoom)
会費：無料

申し込みはこちら



【その他のセミナー】

第27回共育講演会 (リアルのみ)

8月30日(水) 午後6時30分～

テーマ：あなたは何か働くのですか？
～どんな仕事も楽しくなる3つの物語～
講師：(株)アントレプレナーセンター 代表取締役 福島正伸氏
場所：横浜市西公会堂 講堂
会費：1名3,000円 (会員、社員)
1名6,000円 (ゲスト)

申し込みはこちら



ダイバーシティ委員会 (リアル&Zoom)

8月17日(木) 午後6時30分～

テーマ：経営実践報告 (仮)
報告者：(株)ワイズ・インフィニティ 代表取締役 小林雅人氏
場所：神奈川中小企業センター会議室 (リアル&Zoom)
会費：無料

申し込みはこちら



同友会を知る為のオリエンテーション (リアル&Zoom)

8月29日(火) 午後6時30分～

テーマ：「同友会と私」
報告者：(株)大成ERC 代表取締役 成瀬有沙氏
場所：神奈川中小企業センター会議室 (リアル&Zoom)
会費：無料

申し込みはこちら



経営者のみなさまへ

伝えよう あなたの会社の思い!!

記念誌 広報誌
機関紙 ... etc

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
TEL (045) 785-1700 FAX (045) 784-6902

株式会社 神奈川機関紙印刷所

スマホで検索!

ぶつけたらすぐ検索 村松鋳金塗装

☎044-850-5075 9:00~18:00 (日曜・祭日定休)

株式会社 村松鋳金塗装 たま田園支部
MURAMATSU.B.P



横浜みなと支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月26日(月)午後6時00分～

テーマ：つながろう、話そう、そして…仲間になろう！
～新会員さん、いらっしゃ～い！～

報告者：(株)保育のみらい 代表取締役 松山由美子氏
FuLien 代表 大島明子氏
婚活サロン ヒュッゲパートナー 代表 石田悠希子氏



川崎支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月27日(火)午後5時00分～

テーマ：素直に謙虚に儲けよう！
～理念も目的もみな「手段」だ～

報告者：(株)赤原製作所 代表取締役 赤原宗一郎氏



横浜中央支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月16日(金)午後6時30分～

テーマ：その課題、同友会で解決できませんか？

報告者：(株)サクセスフルエイジングサポート
代表取締役 金原嘉子氏
弥侑feel 代表 門倉侑美氏



たま田園支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月16日(金)午後6時30分～

テーマ：起業しなくてもよかったのに、起業してしまった私
～人と人のご縁で繋がる経営～

報告者：一般社団法人発達障害者就労サポート協会
代表理事 隠村美子氏



横浜北支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月20日(火)午後6時30分～

テーマ：自社の現状と課題を語る!!

報告者：(株)Epoch Makers
代表取締役 泉 恒成氏



県央支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月27日(火)午後6時30分～

テーマ：自社の現状と課題を語る！
～3つの事例から自社を見つめる～

報告者：(有)コムアソシエイツ 代表取締役 伊藤敦範氏
ライフ&キャリア 代表 小川真央氏
(有)樹脂リードモデル 工場長 安西基氏



相模原支部&青年部会(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月20日(火)午後6時30分～

テーマ：幸福への追求経営
～あなたのその幸せは本当に幸せですか？～ (仮)

報告者：(株)カラー 代表取締役 志田真人氏



DVD販売 各¥8,000
(消費税込、送料180円)

ビジネスセミナーVol.1

40億円完済も見えた。なのに、悩みができた…
波乱万丈の40億円返済の物語。

(株)湯佐和
代表取締役 湯澤 剛氏

ビジネスセミナーVol.2

人間尊重で増収増益経営
第6回「日本でいちばん大切にしたい会社」
大賞厚生労働大臣賞受賞企業

(株)エイチ・エス・エー
代表取締役 田中 勉氏



湘南支部&県南支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月21日(水)午後6時30分～

テーマ：社長が楽しければ社員もお客様もみんな
ハッピー！
～ファン作りが経営のキモ！～

報告者：(有)コア アウトフィッターズ 代表取締役 山口浩也氏



小田原支部(リアル&Zoom) 報告はコチラ
▼

6月12日(月)午後6時30分～

テーマ：ライフステージの変化に合わせた事業展開
と働き方
～地域社会の「溝」を埋める～

報告者：(株)Woo-By.Style 代表取締役 野村美由紀氏



名刺広告掲載会員様

大募集!

神奈川同友会の機関誌
DOYU kanagawaに貴社の
広告を載せてみませんか？
詳しくは、事務局まで。

☎045-222-3671



支部さんぽ

〈横浜みなと支部 上大岡編〉 vol.12

再開発された副都心・上大岡で 下町風情や歴史を楽しむ

上大岡駅西側は、百貨店や大型商業ビルが立ち並び、再開発された新しい街の印象ですが、1本裏通りに入ると個人店が軒を連ねる、飲み歩くのが楽しいエリア



坂巻 健一郎氏

です。一方で、東側は住宅街。そして、歴史が息づく史跡や建物もあります。そんな上大岡周辺を、MINATO株式会社 坂巻 健一郎氏にご案内いただきました。

上大岡は横浜南部の交通拠点

上大岡駅は、京浜急行線、横浜市営地下鉄ブルーラインなどの鉄道路線のほか、横浜市営バス、神奈川中央交通、江ノ電バス、京浜急行バス、近畿方面の高速バスが発着する横浜南部地域最大のバスターミナルがあり、1日に27万人もの乗降客がある横浜市でも主要な生活拠点（旧：副都心）として指定されています。1990年代後半から2000年代に行われた横浜副都心市街地再開発で、大型の商業施設やオフィスタワービルなどが立ち並びました。

今回ご案内いただいた坂巻氏によると、バスターミナルが駅ビルの1階に入ったことで、駅前の交通渋滞は以前より緩和されたそうです。それでも、駅前には昼夜を問わず交通量が多いため、駅ビルである京急百貨店の2階から向かいのビルへは空中通路が設けられ、駅利用者の利便が図られています。

また、最近駅周辺にタワーマンションが何棟も竣工され、京急百貨店の「デバ地下」や「成城石井」は上大岡マダムで賑わっています。



上大岡駅前

個人店が軒を連ねる裏通りが面白い

上大岡駅西側の鎌倉通り沿いは百貨店やショッピングビルなどが立ち並んでいるため、銀行や大手チェーンの飲食店、ファストフード店、大手家電店などが立ち並びますが、少し裏通りに入ると一変。個人店が軒を連ねます。ここは、戦前は「箱根通」と呼ばれた商店街があったところ。

特に目を引くのが、小さな店構えの「焼き鳥屋」です。中には、屋間から呑める立ち飲み屋さんや買ったお酒をそのまま飲めるいわゆる「角打ち（かくうち）」などもあり、下町のような風情が漂います。戦前は、この通りを抜けた先に「浜の箱根」と呼ばれる花街があったそうです。

また、大岡川沿いには、春には満開の桜を眺めながら食事ができるオシャレなイタリアンレストランもあり、こちらは女性に人気です。

坂巻氏は、地元だけあってさすがに上大岡に詳しく、路地裏や雑居ビル内といった見つけにくいお店をたくさん紹介してくれました。（QRコードよりおすすめのお店をご参照ください。）

一方、上大岡駅東側は西口とは異なり、駅近くまで住宅街が広がっています。西側に比べ静かな印象の東口ですが、駅から少し離れたところには最近できたスイーツのお店や老舗の和菓子屋があり、甘党にうれしいエリアになっています。



大岡川沿いのおしゃれなレストラン

港南区の企業も参加する 子ども見守り運動

上大岡を取材中、坂巻氏の会社を訪れていた栗原敏也港南区長のお話をお聞きすることができました。

港南区が独自に行っている子ども見守り運動としてご紹介いただいたのが「港南ひまわり83（ハチサン）運動」です。これは、小学生が登下校をする時間帯（午前8時頃と午後3時頃）に、住民の皆様にご散歩や買い物、家の周りの掃除などで積極的に外出していただくという、誰でも簡単にご参加いただける子ども見守り運動です。港南区内の企業も積極的に参加しており、坂巻さんの会社も参加しているそうです。

このほかにも、港南区では青少年の健全育成を目的とした「こうなん子どもゆめワールド」や「港南区健康ランニング大会」などのイベントも開催しており、今秋には港南中央駅付近で「ひまわりフェスタ」を開催予定です。



栗原敏也港南区長と坂巻氏

剛勇無双の武将 「源為朝」の隠れ里

再開発され、新しい街というイメージがある上大岡ですが、歴史的な史跡や建物も見逃せません。

上大岡駅前の賑わいから、駅東側の住宅街の方へ少し歩いた坂の途中に「源為朝の祠」があります。ひっそりとした小さな祠ですが、凛とした佇まいです。

源為朝は平安時代末期の源氏の武将で、鎌倉幕府を開いた源頼朝の叔父にあたる人物。身長2mと巨体の上、荒くれ者だったとされ、剛勇無双と謳われていました。

保元の乱（1156年）で父の為義とともに崇徳上皇に味方して戦いましたが、敗れて落人となり、上大岡の東に隠れ住んだと言われています。祠のある場所は、為朝が鎮西八郎と呼ばれていたことから八郎ヶ谷と呼ばれ、今でも4月25日には近隣の方々によって供養が行われています。



源為朝の祠



上大岡の案内役

●MINATO株式会社

（坂巻健一郎氏／横浜みなと支部）

<https://minato3710.jp/>

横浜市港南区上大岡西1-13-15

第二次世界大戦の戦没者を敬い 未来の平和を祈る

上大岡駅から北西方面に5～6分歩いた住宅街の中に、かながわ平和祈念館（神奈川県戦没者慰霊堂附属会館）があります。戦争体験を風化させず次世代に伝える施設として戦後50年の節目にあたる平成7年に、神奈川県戦没者慰霊堂附属会館を建て替えて作られました。

玄関を入ってすぐ、平和を願う中国古来の象形文字の「鎮魂」の2文字をモチーフにした「平和祈念シンボル」が目にとまります。

戦没者の方の遺品約200点がテーマ別に展示されている遺品展示ホールには、爆撃の惨状を示す写真や絵、戦争体験手記などの資料などが展示され、当時の生活や人々の思いがわかる資料館になっています。

館内には、多目的ホールや会議室、ビデオルーム、ライブラリーなどもあり、県民に広く親しまれています。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



かながわ平和祈念館

今回ご紹介した場所は下記をご覧ください。
<https://tinyurl.com/26gfr5ck>





高齢者向け住宅建築の研究者から 祖父から受け継いだ旅館の経営者に転身



株式会社 雉子亭 豊栄荘
代表取締役 原健一郎氏
(小田原支部・支部長)

●株式会社豊栄荘
神奈川県足柄下郡箱根町湯本茶屋227
TEL : 0460-85-5763 FAX : 0460-85-6760
<https://www.hoeiso.jp/>

その後、原氏は一浪して横浜国立大学工学部建設学科建築学コースに入学し、大学院修士課程に進んだ。建築計画学科で高齢者施設の設計に関する研究をするためだった。大学院修了後は、色々な経験をしてみたいと、茅ヶ崎にあった小さな建築事務所就職した。将来の独立を視野に入れての選択だった。毎日夜遅くまで夢中で働いたが、入社後三年が経つ頃、業績悪化のために退職を余儀なくされる。その後は、資格を取得して、高齢者介護と在宅介護の仕事に一年ほど就いた。すると、祖母から豊栄荘を継がないかと打診がきた。迷っていたときに、図書館で出会ったのが、「パリアフリーの旅を創る(高萩徳宗著・実業之日本社刊)」という本だった。そこには、旅は最高の心のリハビリで、人と人の心のバリアを取り除ければ、障害があっても旅を楽しめる環境に近づくと書かれていた。当時、人生に希望が持てずに衰えていく高齢者をたくさん見してきた原氏は、「心のパリアフリーなら、螺旋階段がある豊栄荘でも高齢者の心を豊かにする旅のお手伝いができそうだ！」と考えた。これが事業承継を決意した瞬間である。原氏はまだ二八歳だった。

「お客様半数以上が欧米からの外国人旅館経営で目指すのは「心のふるさと」」
しかし、二〇二〇年から始まったコロナ禍が旅館を襲う。元々お客様の半数以上が欧米を主とする海外からのお客様だった。豊かな自然と日本旅館の凛とした佇まい、ゆったりと流れる時間を楽しみに多くのお客様が訪れていた。「大切にしているのは、「心のふるさと」です。」と、原氏。

それでも、コロナ禍には欧米からのお客様がストップし、国内需要も激減したため、この期間を会社社と社員軸をすり合わせる時間に充てることにした。社員が自発的に作った「豊栄荘会」が、社員と会社が意見を交わす場となった。現在、社員主導で、集められた様々な提案をもとにビジョンマップを制作中だ。今後の展開も楽しみである。

大切なのは「心のパリアフリー」だと
気付き、旅館を継ぐ決心をした

夏休みや親族の集まりなど、折に触れて豊栄荘を訪れていたという。豊栄荘は、土木の会社を経営していた祖父が、六七年前に六〇〇坪の土地を購入して始めた。雉子料理が堪能できる稀少な旅館である。築四〇〇年を超える離れの雉子亭は、昭和三八年に飛騨から移築した合掌造りだ。

祖父が箱根に6000坪の土地を購入して作ったのは雉子料理が自慢の温泉旅館だった。一九七四年(昭和四九年)東京都世田谷区で、二人兄妹の長男として生まれた。父が日本貿易振興機構(ジェトロ)に勤めていたため、父の海外赴任に伴い、三歳の時にエルサルバドルに、五、六歳の時にはパナマで暮らした。帰国後の住まいは、渋谷区幡ヶ谷だった。当時、母方の祖父が豊栄荘を経営していたため、

その後、原氏は一浪して横浜国立大学工学部建設学科建築学コースに入学し、大学院修士課程に進んだ。建築計画学科で高齢者施設の設計に関する研究をするためだった。大学院修了後は、色々な経験をしてみたいと、茅ヶ崎にあった小さな建築事務所就職した。将来の独立を視野に入れての選択だった。毎日夜遅くまで夢中で働いたが、入社後三年が経つ頃、業績悪化のために退職を余儀なくされる。その後は、資格を取得して、高齢者介護と在宅介護の仕事に一年ほど就いた。すると、祖母から豊栄荘を継がないかと打診がきた。迷っていたときに、図書館で出会ったのが、「パリアフリーの旅を創る(高萩徳宗著・実業之日本社刊)」という本だった。そこには、旅は最高の心のリハビリで、人と人の心のバリアを取り除ければ、障害があっても旅を楽しめる環境に近づくと書かれていた。当時、人生に希望が持てずに衰えていく高齢者をたくさん見してきた原氏は、「心のパリアフリーなら、螺旋階段がある豊栄荘でも高齢者の心を豊かにする旅のお手伝いができそうだ！」と考えた。これが事業承継を決意した瞬間である。原氏はまだ二八歳だった。



3歳の時、マイアミのディズニーワールドにて祖父母と共に。



2008年、「パリアフリーの旅を創る」の著者・高萩さんと共に旅をしたプアタンにて。「旅が人生を健やかで心豊かにしてくれる」と語る。

水から健康を提案しませんか？

水道管の元に設置するから、全ての水が活性水に！

- ・水が美味しくなる→飲み水に給食にも
- ・水道管の赤錆が落ちる→健康に良い水
- ・配管が綺麗になる→清掃時間の短縮
- ・メンテナンスフリー 60年→安心保証

施設管理企業様へ
保育園・幼稚園、介護施設等の
水から健康を提案しませんか？



特許取得製品で
効果も実証済

動力・電気不要で
SDG'sにも貢献

資料請求とお問合せはこちら
有限会社モナミック 担当：菊地善一

045-934-5711

WEBでも！



かながわPOWER!
社長と
ランチタイム♪

毎週木曜 12:00~FMカオンにて放送中! (毎週月曜 12:00再放送)
無料スマートフォンアプリ「リスラジ」でも取聴できます。

Hi! Hi! Hi! 会員訪問

〒248-0016 神奈川県鎌倉市
長谷1-14-10 3F
TEL : 0467-25-7000
URL <https://www.kamakurafm.co.jp/>

鎌倉エフエム放送株式会社 取締役副社長 秋山栄二さん(県南支部)

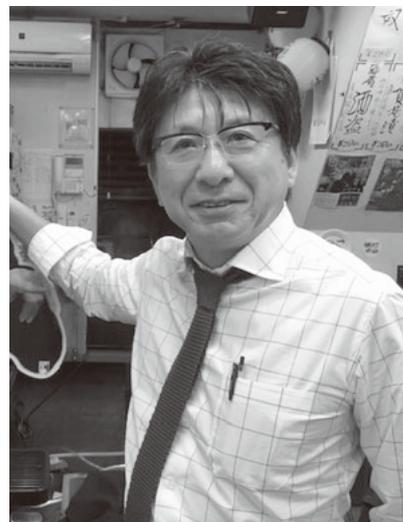
秋山栄二さんは、横須賀市生まれ。大手新聞社に長年勤務した後、2021年6月に鎌倉エフエムの副社長に就任しました。

鎌倉エフエムは、魅力的なお店が多い由比ガ浜大通りにある地域密着型のコミュニティーラジオ局です。

ラジオ局の副社長と、鎌倉市御成通りにある「まちのスナック」のマスターと言う二つの顔を持つ秋山さんは、月に4日ほどカウンターにも立っています。観光客の方や常連さんがふらりと立ち寄れる、気軽に入れるお店です。

鎌倉エフエムは、災害時に強い放送局を目指しています。避難所等で正確な情報が取れない中、停電でも使えるラジオが役に立ちます。被災者の心の支えとなるような番組作りは、とても大切です。「これからも、地域に根ざし人々に信頼される放送局として、災害時を含めた放送機能を十分発揮できるように、日頃から充実したコンテンツを発信していきたい」と力強く語って頂きました。

〈訪問取材(有) テーラーマックス 外木宏明〉



NEW FACE 新会員紹介

	会社名	社内役職	会員名	所属支部	入会日	事業概要	紹介者
1	(株)岩田屋	代表取締役	岩澤 克政	川崎	2023年6月1日	建築設計・施工業、酒類製造販売	平井慎一郎
2	SOSEI Tech(株)	代表取締役	秋谷 貞男	横浜みなと	2023年6月6日	訪問鍼灸マッサージ治療院他	新谷、事務局 (HP)
3	セールスライター	代表	森岡 梓	横浜みなと	2023年6月7日	管理栄養士、美容健康セールスコピーライター	齊藤、事務局 (HP)
4	(株)tomonico	代表取締役	奈須 香織	県南	2023年6月9日	WEB制作	木村志義
5	オオクラマネジメントコンサルティング	代表	大倉 信浩	横浜北	2023年6月22日	人事全般と習慣に関するコンサルタント	長谷川 満
6	就労支援カレッジ(株)	代表取締役	松尾 貴博	横浜みなと	2023年6月26日	就労移行支援、定着支援など障害者の就職支援、メンタルカウンセリング	木村志義
7	個別支援教室ツーマン塾	塾長	津島 徹	湘南	2023年6月26日	学校生活や日常生活の中で困り感を感じている児童生徒を個別にバックアップするニュータイプの塾です	菅野恒宏
8	アオイ機工(株)	代表取締役	青柳 達磨	川崎	2023年6月27日	石油プラントの配管部品の製造	田中勇人
9	OFFICE22	代表	今田いつか	横浜中央	2023年6月30日	離婚カウンセラー、物販アドバイザー、中小企業専門売上UPナビゲーター	金子誠志
10	(株)ラブサバイバー	代表取締役	斎藤 和明	横浜北	2023年6月30日	システム構築、IT研修講師	長谷川 満

2023年6月30日現在会員数：866名（全国会員数：47,089名）

会員Information

～会員皆様からの情報をお待ちしております～

住所変更

鎌倉総合法律事務所 所長弁護士 久保 豊氏
変更前 〒248-0006 鎌倉市小町1-5-12
変更後 〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜1-1-1-30
ブリーゼ由比ガ浜401

編集後記

上大岡駅周辺を支部さんぽにて散策しました。
駅ビルの利用は何度かあるものの、降り立つ機会が少なかったので心が弾みました。
信号待ちをしている間に、港南警察署の上大岡駅前交番の素敵なデザインのアートを楽しむから始まりました。案内人のお話を聞きながらの取材は、より上大岡を身近に感じることができます。駅の周辺だけでなく、様々な観光施設や名所に、活気のある街並みを感じながら、夏の夕涼みをかねてまた訪れたいです。 村上電業(株) 村上明香



日本初のオーベルジュで学んだ 土地の息吹を感じる料理で 挑み続ける

H×M(アッシュ・エム)の店内。
ゆったりとテーブルが配置されて
いるので、隣のテーブルの話しに
煩わされることなく食事ができる。



研ぎ澄まされた五感で季節を捉え、 地元の素材にこだわった料理を提供する

庭の木々が芽吹いた朝、「今日から春のメニューにするぞ。」と、シェフ。日々、研ぎ澄まされた五感で季節を捉え、料理を提供する。それが、有限会社エスプリ・デキップの相山洋明社長が日本初のオーベルジュ「オー・ミラドー」(箱根)で、ホールサービスとして学んできたことだった。

今でこそ声高に地産地消が唱えられるが、1986年当時、すでにその土地ならではの素材にこだわり、味覚を創造してきた巨匠・勝又登シェフから直に薫陶を受け、2002年、平塚にレストラン「H×M(アッシュ・エム)」を開業。開業当初から、地元の素材にこだわり続ける。市場で出会った生産者を訪れ、コミュニケーションを重ね、野菜はもちろん、魚、豚肉、鶏肉にいたるまで地元産だ。

「魚は地元の漁師『日海丸』と提携し、その日の朝水揚げされた魚を直接仕入れています。魚種はお任せ。だから、その日の仕入れ状況でメニューが変わってきます。」と、相山社長。まさに、平塚でしか味わえない料理を提供しているのである。

料理界のレジェンドに学んだプロデュース力

相山社長は、料理専門学校を卒業後、渋谷「1999口アラブッシュ」に就職した。当時、料理人はホールサービスから始めるのが通例だったという。その後、料理人にはならず、ホールサービスの仕事を続け、「オー・ミラドー」に転職した。

憧れのグラン・メゾンだったが、仕事は厳しかった。しかし、次第に恋愛をしているかのように夢中になっていった。素材に対する情熱、お客様への接し方、照明の灯し方にいたるまで、勝又シェフからレストランの

在り方とプロデュースの仕方を厳しく叩き込まれた。「勝又シェフに負けないぞ」という気持ちが、現在もモチベーションになっているという。

鎌倉から小田原まで100軒近くを見て、 平塚を選んだ理由とは

生産者に近い土地で料理を提供したかった。そこで、交通の便が良く、色がついていない街並みが気に入った平塚で、海沿いの木造物件を自らDIYし、ブラッスリー「H×M」を開業した。

店名の「H×M」は家族のイニシャルで、家族皆で力を掛け合せていこうと「×(かける)」を入れて名付けたものだ。開店時には、平成大不況の最中だったにも関わらず、連日行列ができた。当時は珍しい「テラス席には愛犬連れOK」の店だったことも評判を呼び、2003年には木村植物園内にドッグカフェ「カフェ・ナチュラル」をオープンしている。(現在は譲渡)

次いで、2006年には湘南ベルマーレを応援するイタリアン・スポーツバル「モト・ロッソ」を開店。因みに、「モト・ロッソ」は、ローソンの跡地にオープンしたことから「元ローソン」にかけた店名なのだとか。(2015年に本店を同地に移転統合し、リニューアルオープンしている。)

「食のエスカレーター戦略」で、次々に店舗を展開

ところで、相山社長が唱えるのが「食のエスカレーター戦略」。それは、小さなお子様も利用できるカジュアルな店舗から始め、やがて、そのお子さんが成長するとスポーツバルでちょっと大人な店を体験し、社会人になったらデートやファミリーでレストラン「H×M」を利用していただくというもの。現在も、着々と戦略的に店舗を展開中だ。

2016年から4年間はJR東日本のリゾート列車内で料理を提供し、2020年には横浜市役所の2階に「ユニバーサルダイニングONE」を出店。そのプロデュース力は多方面から評価を受け、今後も店舗展開の計画が続く。

興味を持った生産者のもとへはすぐに駆けつけるネットワークの軽さも後押しし、今も人脈のネットワークはどんどん広がり続けている。このネットワークがビジネスを広げる。目指すのは、well-being。コミュニティが生まれると、そこにスモールビジネスが生まれ、経済圏ができる。皆にとって良いことは持続する。そこに、心地よい社会ができるのだと語る。常に新しいことを仕掛け、まだまだ進化中なのである。



有限会社エスプリ・デキップ 代表取締役 相山洋明氏

〈取材・文：(有)マス・クリエイターズ 佐伯 和恵 / デザイン・レイアウト：(有)デザインスペースマジック 佐藤 慎治〉

彩時季
8月

株式会社アンブ
インテリアデザイン
代表取締役 小早川 梓
(こはやかわあずさ)
(横浜みなと支部)



長いコロナ禍がようやく開け、夏祭りが再開されたところも多いようです。地元の夏祭りも4年ぶりに復活し、街に灯る提灯や阿波踊りの練習のお囃子の音色が聞こえてくると、かつての賑わいが思い起こされ、心が踊ります。4年の月日を経て再会する仲間達と楽しそうに阿波踊りの練習に励む子供達の姿は、すっかり身長も大きくなって、喜びとともに月日の経過を感じます。弾ける笑顔と阿波踊りの音色に、暑い夏を乗り切る元気をもらいました。

【広報委員】

【横浜中央支部】 中林正幸、網野雅広 | 【横浜みなと支部】 野垣博文、 | 【横浜北支部】 | 【川崎支部】 | 【相模原支部】 | 【県央支部】 | 【湘南支部】 | 【県南支部】 | 【小田原支部】 | 【たま田園支部】 佐藤慎治、
松村千代、堤由里恵、今井鉄平 | 木村亮太、石田 悠希子、平嶋大輔 | 角田孝志、村上明香 | 外木宏明 | 野崎綾二 | 岡部達彦、天野哲也 | 鈴木 大、藤木尚 | 荒岩理津子 | 小山暢宏 | 鈴崎治男、佐々木良司

表紙/photo: 中林正幸(有)マス・クリエイターズ / design: 佐藤慎治(有)デザインスペースマジック

神奈川県中小企業家同友会 | 2023年8月1日発行(月刊) 毎月1回1日発行 編集責任者/松村千代 発行:神奈川県中小企業家同友会 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
同友かながわ第449号 | 神奈川中小企業センタービル3F TEL:045-222-3671 FAX:045-222-3672 制作・印刷/株式会社神奈川機関紙印刷所